

第4回群馬県世界遺産専門委員会 議事録（概要）

日 時：平成29年8月1日（火）13：00～15：00

場 所：富岡合同庁舎 大会議室

1. 開会

2. 挨拶 向田企画部長

3. 議事

（1）報告事項

「富岡製糸場と絹産業遺産群」の各構成資産の現状について

- ・富岡製糸場、田島弥平旧宅、高山社跡、荒船風穴の現状について、各市町の担当者が報告を行った。

（2）協議事項

平成28年度モニタリング調査について

- ・事務局から平成28年度のモニタリング調査結果について報告を行い、特段の問題がないことが確認された。

（3）その他

「世界遺産センター（仮称）」の整備計画について

- ・事務局から現在整備を進めている「世界遺産センター（仮称）」の設置予定地及び機能について報告を行った。

【委員からの主な発言】

- ・構成資産周辺の整備事業について、他所で行っている先行事例の調査を行い、よりよい方法を検討すること、また複数年で行っている整備事業は施行事業の統一性が担保される（年度ごとや場所により工法が異ならない）よう留意すること。
- ・まちなか整備について、歴史的建造物はその建造物自体がもつ歴史的価値への留意、また緩衝地帯の景観保全と防災に留意したまちづくりを検討すること。
- ・「世界遺産センター（仮称）」について、センターの容積（約500㎡）に見合う機能と、ガイダンス機能・研究機能の全体像を整理すること。
- ・「世界遺産センター（仮称）」について、観光客の年齢層、日帰りか宿泊かなどの動向を把握する観光統計等の手法を活用し、センターへの来訪者の入場を促し、ガイダンス機能を活かす方法を検討すること。
- ・「世界遺産センター（仮称）」について、センターにおける調査研究機能の在り方について検討すること。
- ・「世界遺産センター（仮称）」について、センターとして整備予定の煉瓦造等の歴史的建造物や従前の設備等には文化財的価値が認められ、その価値を最大限尊重すること。整備にあたって、一部を除却することなどが無いように留意すべきこと。

（以上）